

2019年度

# 第20回宝塚市子ども議会 事前学習会(7月29日)



なかがわしちょう  
中川市長から一人ずついしよくじょう  
委員状の交付を受けたあと、じこしょうかい  
自己紹介をしました。



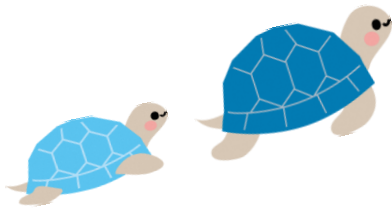
よろしく  
お願いします!

学校名、学年、名前を言って、あいさつをします。少しきんちょう・・・



みんなの中から、議長と副議長を決めます。

せっきよくてき  
積極的に手があがり、議長は光明小学校6年の沼毅さん、副議長は末成小学校6年の軸屋心美さんに  
決められました。二人には当日のぎじしんこう  
議事進行をしてもらいます。



色んな意見が  
あるなあ～



こうし  
講師の浜田進士先生による  
ワークショップ、『子どもには  
聴いてもらえる権利がある』  
を受けて、子どもの権利について学びました。  
近くのお友達と意見交換などをしながら、自分の意見をたくさん出し合いました。

ワークショップの後は、自分たちの提案について市の担当者からヒアリングを受けました。



ヒアリングの後は、市議会の議長・副議長さんにごあいさつをしました。



- ワークショップにヒアリング、たくさんこなして少し<sup>つか</sup>疲れた様子・・・  
でも最後まで<sup>しゅうちゅうりょく</sup>集中力を切らさず、がんばりました！

## 第20回宝塚市子ども議会(8月27日)



午前中は、本番に向けてリハーサル。本番に向けてしっかり練習！



本番の様子は、後日お送りする会議録を見てくださいね。  
会議録はカラー版で、市のホームページにも<sup>けいさい</sup>掲載する予定です。

【ページID：1001063】で

<sup>けんさく</sup>検索してください。



良い経験になりました！





～最後に～

## 子ども議会って？子ども委員会って？

宝塚市では、子ども条例の趣旨をふまえて、「子ども議会」と「子ども委員会」を実施しています。

どちらも、子どもたちにまちの仕組みや実態を知ってもらい、政治や行政に関心をもってもらうこと、そして、子どもたちの視点からまちづくりについて意見を聴いて、市の仕事に反映させることが目的です。

● 子ども議会は今年度で第20回を数え、昨年度までの子ども議員と合わせて、これまでに730人の子ども議員が誕生しています。

● これまでたくさんの意見をいただけてきましたが、その中で実現したものとしては、市立の小中学校の冷房化や交差点付近への注意喚起の看板の設置などがあり、昨年度も、学校設備の修繕などが実現されました。

● いただいた意見の中には、実現が難しかったり、すぐにはできなかつたりすることもあります。みなさんの声はしっかりと受け止めていきたいと考えています。

## 子ども条例って知っていますか？

● 小学4年生・中学1年生向けに、子ども条例のパンフレットを配布しています。

● 条例というのは、宝塚市の法律、つまり宝塚市の約束ごとです。

● 子どもたちが健やかに育っていくように、「市役所」「学校」「地域の人」などの役割が書かれています。

● その第14条に、「市は、子どもも社会の一員と認め、子どもたちが持っている思いを発表する場所をつくります」とあります。これが、「子ども議会」や「子ども委員会」です。子ども議員や子ども委員が、市内の子どもの代表として、子どもの思いを市長や教育長に伝えています。

● 子ども議会と異なり、子ども委員会は誰でも応募できます。興味のある人は、ぜひ参加してみてくださいね。詳しくは市のホームページをご覧ください。【ページID：1003647】

(今年度の募集は終了していますが、  
来年度以降の参考にしてください。)



(お問い合わせ先)

宝塚市役所 子ども未来部 子ども政策課

TEL (0797) 77-2419 (直通) / FAX (0797) 77-2800

E-Mail : m-takarazuka0051@city.takarazuka.lg.jp